

群馬へるす&らいふ

GUNMA HEALTH

歯を守る 訪問診療手配

歯を守ることは全身の健康につながる。高齢化が進む中で、歯周病や誤嚥性肺炎の予防といった、歯科保健への期待が高まっている。県や歯科医師会なども、県民の意識向上のため様々な対策に乗り出している。在宅歯科医療連携室の整備事業もその一つだ。

（鈴木希）

最前線

＊毎週日曜日掲載

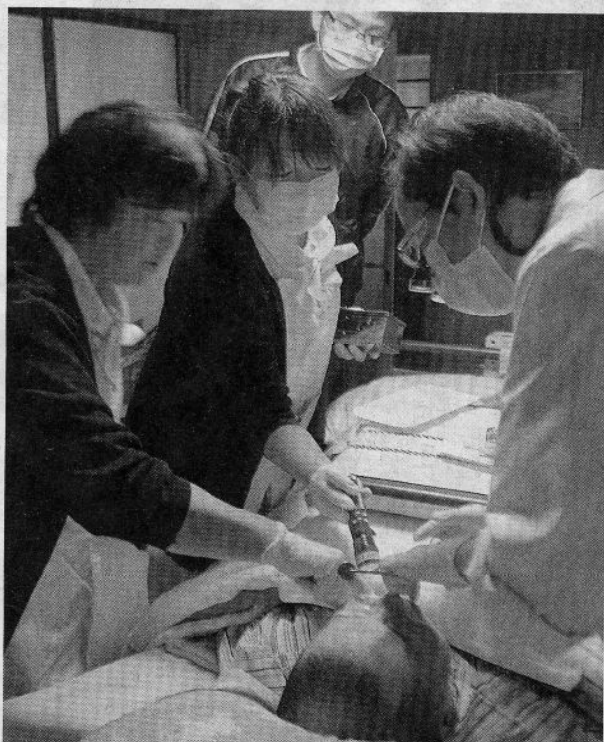
「きれいに管理されていますね。ここに少し穴が開いているので薬を塗りますが、今度は詰めの方がいいかもしれません」。難病で寝たきりの男性(72)が住む富岡市内の自宅。富岡甘楽歯科医師会専務理事の茂木忠泰歯科医師が歯科衛生士と訪れ、口の中を鏡で診つつ説明すると、その場で見ていた妻(72)やケアマネ

窓口一本化 器具貸し出し

ジャーがうなずく。妻は「診療所に通うことはできないけれど、きれいに歯を保つことは大事。来てもらえるのは本当にありがたい」と話す。

富岡甘楽連携室が奏功

同歯科医師会は、1992年に市内に口腔保健センターが建設された際、地域に還元できる取り組みをしようと訪問診療の連携を始めた。その



寝たきりの患者の自宅で診療を行う茂木歯科医師(右)やケアマネジャーら(富岡市内)

システムを活用し、2010年に県の委託を受けて連携室を設置した。当初、年間2人程度だった診察対象者は徐々に増え、連携室ができて窓口の一本化が進むなどした結果、62人に増えた。

「その場で処置を済ませるため、持って行く器具は多い。薬品や鏡などの入ったケースのほか、吸引器具などがコンパクトになった10センチ以上のポータブルユニットなどを持ち運ぶ。「重さも購入金額も大きいので、訪問には歯科医師会の器具を貸し出しています」と茂木歯科医師。

マッチングを担う機関。治療だけでなく、訪問するほかの医療関係者との情報共有にも一役買っている。県内で設置されているのは富岡甘楽歯科医師会内のみ。

同歯科医師会の峯岸博行会長は「行政との連携や診察に来ることが出来ない人々への対策は一般診療ではなかなかできない。地域住民の健康が保たれることはこの歯科医師会にとってもうれしいこと」と話す。

よだす 披露目

ぐんまちゃんダンスを初披露するぐんまちゃんやAKGのメンバーたち(県庁)

ぐんまちゃん、公表された1994年2月22日生まれの「永遠の7歳」という設定で、県民を交えて誕生



飾られた来場客

USO放送 懸案事項 日中開の「空気」

最高裁人事 前 崎支部長(東京高裁 志子)24日▽定年退職 家蔵高橋支那

花粉情報		きょう							昨日の気温		天気			
24日		朝	昼	夜	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	1(金)	2(土)	最高(平年)	最低(平年)	きょうの	あすの
少ない		4	6	10	4	12	12	12	12	7	7.9(9.9)	-0.1(0.1)	2月25日	2月26日
北 部		20	20	30	20	50	20	30	30	1	8.9(10.0)	-1.6(-1.8)	(月曜日)	旧1月16日
		5	6	9	5	11	11	11	11	6				
		20	20	30	20	50	20	30	30	20				

お

あすの 2月25日 (月曜日)

旧1月16日